

# 辺野古新基地建設は技術的にも、財政的にも破綻している！

## ◆主な発言◆

おくま まさのり

**奥間 政則**さん(土木技術者)

浦島 悦子さん(ヘリ基地反対協議会共同代表)★リモート

加藤 宣子さん(Stop! 辺野古埋め立てキャンペーン)

国会からの報告(調整中)

防衛省＝沖縄防衛局は昨年(2021年)の11月28日に大浦湾側に土砂の投入を行いました。その後、12月19日には大浦湾にある軟弱地盤の改良工事の一環である砂ぐいを打ち込む作業を再開しました。軟弱地盤の改良工事は約7万1千本のくいを打ち込む計画です。この作業は昨年(2021年)の1月から開始しましたが、台風などの気象条件で半年以上工事が止まり、打ち込まれた砂ぐいは2900本にとどまっています。現在のペースだと地盤改良工事だけで10数年かかります。

工事は圧倒的に遅れています。さらに辺野古調査団の分析ではケーソン護岸のほとんどが震度1～3で崩壊することが判明しました。海面下90mの軟弱地盤の改良工事は技術的に不可能です。政府は辺野古新基地建設の費用を約9300億円と試算していますが、支出は2026年度で約8425億円になり予算の9割に達します。

新基地建設は財政的にも技術的にも破綻しているのは明らかです。政府が工事を再開したのは1月の名護市長選、9月の沖縄県知事選を前にして名護市民・県民にあきらめ感を植え付けるのが狙いです。

集会では土木技術者の奥間政則さんから埋立の構造的問題と濁り水の問題、海砂問題について話をいただき、辺野古新基地建設を許さない声を広げていきたいと思ひます。

多くの皆さんの参加をお願いします。

賛同：フォーラム平和・人権・環境

安保破棄中央実行委員会

憲法9条を壊すな！実行委員会

主催：「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック (090-3910-4140)

ピースポート (03-3363-7561)

沖縄意見広告運動 (03-6382-6537)

# 27 辺野古新基地建設を許さない集会

2月27日(金) 午後6時30分～

文京区民センター・2A 資料代800円

